



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰

☆下中だより「となん」は、
学校HPから閲覧可能→



第39回全日本トライアスロン宮古島大会

『チーム台湾』選手との交流会

マスコミ報道にもあったとおり、4/18(金)に、みだしの交流会を実施しました。私は出張で不在でしたので、宮古新報の記事から引用いたします(加筆修正あり)。

下地中学校の生徒たちが18日、トライアスロン宮古島大会に出場する台湾選手らとの交流を行った。同校は台湾との交流が深く、トライアスロンでは選手たちと交流を実施。今年は出場するジャンチャイさん、チュウパイカイさん、クオチンさんと、応援するリャオワンティンさん(ジャンさんの奥さん)の4人を招いた。



体育館で行われた交流会では、生徒たちが台湾の国旗を振りながら選手らを歓迎した。

生徒会役員の松川藍丸さん(2年)が日本語、永井隆誠さん(3年)が北京語で「ようこそ下地中へ、皆さんを迎え入れることができうれしい。大会では緊張すると思うが、下地中との交流を楽しみ、(レース)の本番では完走を目指して頑張ってください」とあいさつした。

選手たちの自己紹介のあと質問タイムもあり、生徒たちは「トライアスロンに出たいと思ったのは?」「どういうトレーニングをしているのか?」「レース中は何を考えているのか?」などを質問。ていねいに答えた選手らは宮古島大会について「大好きな宮古島のレースに出ることができてうれしい。海など景色も素晴らしく、住民の沿道の応援も楽しみ」と話した。



このあと生徒たちは、選手の完走を祈って折り鶴を作り、応援幕に貼った。

初めて交流会に参加したジャンチャイさんは、生徒たちの歓迎に「皆さんが一生懸命に横断幕も作ってくれた」などと感激した様子。レースに向けては完走を目指して頑張りたい」と意欲を見せた。



このあとは、教室に移動して一緒に給食を食べました。メニューは「かぼちゃのポタージュ、小松菜とチキンのサラダ、ささみチーズフライ、コッペパン、牛乳」でした。



給食・清掃後、体育館で「お別れ会」を行いました。選手を激励する生徒有志による「川満の棒踊り」を披露しました。そして花道で選手を見送り、交流会を終了しました。

